

アイワードで工場見学会



奥山社長（左）とミューラー会長

製本部門 スマート化

「アレグロ」「プリメーラMC」披露

ミューラー・マルティニ ジャパン株式会社（本社・東京都板橋区）は昨年9月、㈱アイワード（本社・北海道札幌市中央区北2条東1丁目6番の1、奥山敏康社長）の石狩工場に最新鋭の全自动無継縫機「アレグロ」および中綴じ機「プリメーラMC」を納入した。この両機はモーションコントロール技術が全面的に採用されていることから、その正確なリセット精度によって一冊目から良本を出せることがコンセプトに開発された。小ロット製本に対応したモデルとなる。さらにアイワードではこの2台を含めた全4台の製本ラインを、全生産情報をリアルタイムで収集するデータマネジメントシステム「コネクツ」に繋ぐことで、印刷以前の工程から製本工程までを統合したスマートファクトリ化を実現している。そのような先進的な取り組みの詳細について、4月20日にアイワードの石狩工場で開催した記者会見において紹介した。

会員頭、あいさつに「シヨンシップ」が立ちたアイワードの奥山社長は「当社では2019年からすべての生産マート化に基づいたもの機器を本社に設置したので、お客様とのやり取りバーツつなげる。スマート化の取り組みを進められてきた。我々はお客様との課題を共有して技術開発によって解決を図ってきた。また続けて「近年、情報伝達手段としてデジタル



「アレグロ」（右）と「ボレロ」の両無継縫じラインを向かい合わせに設置



「プリメーラMC」

比類がない日本の品質

当社もコロナ禍によつて大きな打撃を受けた。2020年第1四半期には、機械販売、スペア部品事業に影響を及ぼし、新台の納入に若干の遅れが生じることになった。2021年も引き続き同じよう

に影響を及ぼし、新台の納入に若干の遅れが生じただけではない。コロナ禍によって、書籍市場で

は、機械販売、スペア部品事業に影響を及ぼし、新台の納入に若干の遅れが生じただけではない。コロナ

禍によって、書籍市場で

は、機械販売、スペア部品事業に影響を及ぼし、新台の納入に若干の遅れが生じただけではない